

令和2年度

国分寺市障害者地域自立支援協議会

専門部会 中間活動報告書

相談支援部会

就労支援部会

精神保健福祉部会

令和2年度 相談支援部会 中間活動報告書

令和2年度の主な取組内容

- ◆ 新型コロナウイルスへの対応の検証と今後の対策を検討
- ◆ 教育分野との更なる連携について検討

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	7月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の部会のテーマについて ・新型コロナウイルスへの対応の検証と今後の対策について ・「あなたと私の権利を守るサポート Book」(仮称)について ・相談支援事業所連絡会及び障害児通所支援事業所連絡会における取り組み状況や課題について 	
第2回	9月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉施設における感染症対策研修について ・教育分野との更なる連携について ・「あなたと私の権利を守るサポート Book」(仮称)について 	リモート開催
研修会	7月31日	障害福祉施設における感染症対策研修 ～新型コロナウイルス感染症の第二波に備えて～ 講師:立川相互病院 医療安全管理室感染管理認定看護師 伊藤淳	
相談支援事業所連絡会	6月19日 7月16日 8月20日 9月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における現状・課題の報告 ・事例検討及び合同研修について ・切れ目のない相談支援体制について ・計画相談に関わる手続きの更なる効率化について ・障害者施設における感染症対策について ・「あなたと私の権利を守るサポート Book」(仮称)について 	
障害児通所支援事業所連絡会	7月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における現況報告 ・障害児通所支援事業所と保育・教育との連携について ・児童発達支援等の無償化について ・リスクマネジメントについて 	

成果・活動から見てきたことなど

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、相談支援部会・相談支援事業所連絡会の開催が延期され、現時点においても会場・時間の制約やリモート形式での開催を余儀なくされている。

障害福祉サービスにおける影響は大きく、緊急事態宣言期間中における外出系サービスの制限や、感染者及び感染を疑われる人が発生した事業所が臨時閉所となるなど、相談支援専門員は状況把握や連絡・調整に追われることとなった。また、感染拡大防止の観点から、相談支援専門員が施設やご自宅等に訪問してのモニタリングや面談ができなくなるなど、厳しい制限の中での業務遂行を強いられることとなった。

障害福祉サービスは障害がある方の生活に欠くことができないものであり、新型コロナウイルスが再び感染拡大した場合を想定した支援体制について検討をする必要がある。特に居宅やグループホームについ

ては感染者が発生したとしてもサービスの一時停止や閉所することは困難であるため、市内事業所が新型コロナウイルスに対して正しい知識を有すること、そして市内において事業所の枠を越えた協力体制を構築することが急務となる。その第一歩として市の協力を得て開催したのが「障害福祉施設における感染症対策研修」であり、施設における効果的な感染防止策やご利用者が感染した場合の対応方法等を学ぶことができた。また、9月には「新型コロナウイルスに関する担当者意見交換会」が開催され、市とグループホームを運営する市内法人の担当者が、今後の対策や協力体制構築に向けての取り組みが始まっている。

福祉と教育の更なる連携については、相談支援事業所連絡会そして障害児通所支援事業所連絡会から多くの希望が出ていた。放課後等デイサービスを利用する児童が年々増加しているが、児童の成長・将来を見据えたより良い支援を提供するためには、福祉と教育の相互理解の促進、そして保護者を含めた情報共有と3者が気軽に相談できる環境が必要である。学校に対して一方的に情報提供を求めるのではなく、福祉事業所も学校のことを知る、そして学校にもより福祉事業所のことを知っていただき、気楽に連絡できるような関係を目指して取り組みを進めたい。

相談支援事業所連絡会では、ライフステージにおける切れ目のない相談支援体制についての協議を継続しており、9月の定例会では「児童から者」への移行を控えた4名についてのケース検討会を実施した。

市内相談支援事業所には、指定特定相談支援事業と指定障害児相談支援事業の2事業を提供している事業所や、いずれかのみを提供している事業所もあるため、「児者転換時」に相談支援事業所の契約変更が必要となるケースが発生する。単に年齢や更新月という期限を境に引き継ぐのではなく、ご利用者のライフステージに寄り添い、各相談支援事業所の特徴を活かせるタイミングで引き継ぐことが、ご利用者・事業所双方にとって良い結果をもたらすものと考え、今後も相談支援事業所間の連携を強化していく。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
第3回	12月18日	・新型コロナウイルスへの対応の検証と今後の対策について	
第4回	2月12日	・教育との更なる連携について ・「あなたと私の権利を守るサポートBook」(仮称)について	
相談支援事業所連絡会	10月16日 11月19日 12月17日 1月21日 2月19日 3月18日	・各事業所における現状・課題の報告 ・事例検討及び勉強会について ・計画相談に関わる手続きの更なる効率化について ・コロナ禍における相談支援の課題や対応について ・「あなたと私の権利を守るサポートBook」(仮称)について ・教育との更なる連携について ・他部会との効果的な連携について	
障害児通所支援事業所連絡会	2月頃予定	・事業所間の連携・情報共有について ・教育との更なる連携について	

令和2年度 就労支援部会 中間活動報告書

令和2年度の主な取組内容

就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取組について協議

- ◆ 商業施設での物品販売の実施について
- ◆ 一般企業実習先の開拓について
- ◆ お仕事ネットワークの連携活性化について

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	7月28日(火)	① 各作業部会の取組状況報告 ＊農福連携に関する協議 ＊お仕事ネットワーク ＊就労移行支援事業所連絡会 ③ 令和元年度就労支援部会活動報告 ④ 今年度の取組について協議 ＊商業施設での物品販売について (10月3日(土), 4日(日), 10日(土), 11日(日) 11:00~16:00 ミーツ国分寺3階プラタナス広場にて実施予定) ＊一般企業実習先の開拓について ＊お仕事ネットの連携活性化について ④ 次期障害者計画等策定に係る意見聴取について	
第2回	9月30日(水)	① 各作業部会の取組状況報告 ＊農福連携に関する協議 ＊お仕事ネットワーク ＊就労移行支援事業所連絡会 ② 商工会との連携について ③ お仕事ネットの取組について ④ 来年度就労支援部会における研修及び講義等について ⑤ 国分寺障害者施設お仕事ネットワーク 秋のSweets&Hand Made Fairについて 10月3日(土), 4日(日), 10日(土), 11日(日) 11:00~16:00 ミーツ国分寺3階プラタナス広場にて実施	リモート開催

成果・活動から見えてきたことなど

農福連携に関しては、関係者間の協議を経て、生産農家の生産物をJAの協力を得て供給していた
だき、社会福祉法人けやきの杜 食彩工房プラスワンで加工品の製造を試験的に行ってみるとい
う段階まで進展することができた。

今後、試験的な取り組みを重ねるなかで得られる課題や成果を部会内で共有し、是非とも軌道に乗
せられるよう取り組んでいきたい。

地域の実習先の開拓についても、地域活性化包括連携協定を締結している企業での実習受け入れが
実現しようとしている点で、進展が見られた。

実際に実習を行う中で、受け入れる側、依頼する側、双方が感じた課題を今後の更なる実習先の開拓
に活かすようにしたいと考えている。

商工会との連携や国分寺市役所等からの優先調達によるB型事業所等の受注開拓については、発注
を検討される側が不安に感じられることとして、障害者の方々が行う仕事に対する品質面や専門性、
対応能力などがあることが明らかとなった。

それら不安を払拭するためには、これまでの受注実績を提示することや、仕事内容によっては納期や
作業量に応じた価格設定を明確にするなど、発注を検討される側が知りたい情報を的確に提供する必
要がある。

また、お仕事ネットワークに加盟している市内事業所の連携だけでは脆弱なため、必要に応じて近
隣他市の事業所と連携が図れるような関係性を構築し、受注対応能力を強化することも今後の課題と
なっている。

今後の活動予定

第3回	12月9日(水)	・今年度の取組(各作業部会・就労支援部 会)についての報告・総括 ・次年度に向けての取組について具体的な 内容の協議	
第4回	1月中旬～ 2月中旬		

その他

--

令和 2 年度 精神保健福祉部会 中間活動報告書

今年度部会の主な取組

◆全体を通じて「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて協議を行う。(継続)

- ① 「地域生活支援拠点」の精神障害者の活用法を検討する。
- ② 精神科病院に長期入院中の方への地域移行支援について、ワーキングチームを立ち上げ、病院へのアプローチ、より具体的な課題の把握、を行う。
- ③ 精神障害者のコロナ禍ならびに災害時における支援について課題の抽出と対応を協議する。
- ④ 精神障害当事者の方から生活状況や暮らしのニーズ等をヒアリングし、今後の支援の課題を抽出する。

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	7月30日 (木)	<ol style="list-style-type: none"> ① 障害福祉計画への部会としての意見反映について。 ② 長期入院をしている国分寺市民の状況把握のための具体的な活動 ③ 精神障害に関する広報活動 ・市報に掲載する情報の検討 ④ 今年度の協議内容について ・精神障害者の方にとっての地域生活支援拠点について ・精神障害当事者の気持ち、状況、ニーズを直接伺う機会をもつ。 ⑤ 新型コロナウイルス感染症に対する各機関の対応並びに実践課題 	<p>→医療機関への調査を踏まえて「ワーキングチーム」(WT)を編成する。</p> <p>→介護体制の維持に関する協議</p>
第2回	9月25日 (金)	<ol style="list-style-type: none"> ① 長期入院となっている国分寺市民の状況把握のための(ワーキングチームの具体的な活動について) ・WTの編成の核は市・基幹・地活とし、必要に応じて部会構成員を集める。 ・活動予定について ・病院訪問の手法ならびに要点 ② コロナ禍における支援課題について ・各機関の対応の現況を交えて ③ 地域生活支援拠点の機能について ・市内法人間の連携について ④ 当事者ヒアリングについて ・開催時期と招聘対象者の検討 ⑤ その他 	<p>→WT 会議(9/15)の報告と提起</p> <p>→保健所 PHN、根岸病院 PSW をアドバイザーとして依頼</p> <p>→処方薬、食材の確保の要、感染発生の際の具体的対処や配慮について</p> <p>→複数人をイメージ</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・市報掲載情報の確認 ・講師等依頼のイメージについて 	
--	--	---	--

成果・活動から見えてきたことなど(課題整理)

- ◆長期入院中の国分寺市民の方々の実態の把握と地域移行支援を進めていくために、部会構成員によるワーキングチーム(WT)を編成し、病院訪問を実施する準備を整えつつある。活動を具体的に進める中で、必要に応じて他の構成員の参加をはかり、また多摩立川保健所 PHN、根岸病院 PSW をアドバイザーとして位置づけることを確認した。
- ◆コロナ禍によって改めて地域での生活における支援ニーズが浮き彫りになってきている。災害時の支援にも通じるこれらの支援ニーズを整理し、地域生活支援拠点の機能充実に結び付けていく必要がある。また、一法人のみではなく、市内を一つの支援機関とみだてて各機関が連携していくことの重要性も指摘されている。これらの検討が「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に連動していくことを共有した。
- ◆精神障害当事者からの直接的なヒアリング等により、生活支援の要素やニーズをくみ取り、また基幹センターでの事例検討において抽出された課題や対応法の共有化もはかりつつ、地域の課題や支援ニーズを引き続き確認・共有していく。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
スキルアップ研修Ⅰ 地域移行	12月22日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・伊澤部会長より精神保健福祉部会の報告(精神科病院へのアンケート結果を受けてワーキングチーム(WT)を結成した経緯等) ・東京都精神障害者地域移行体制整備事業の報告(多摩地域の地域移行の動き、コーディネーターからの報告等) 	★基幹相談支援センター事業
第3回	12月22日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修Ⅰの報告 ・地域移行 WT の活動について報告 ・コロナ禍や災害時における支援について ・地域生活支援拠点の在り方について 	
第4回	2月9日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害当事者よりのヒアリング ・地域移行 WG の取り組みと今後の動きについて ・地域生活支援拠点と精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムについて ・今年度の取組についての検証について ・次年度に向けての課題・取組について協議 	

その他

- ◆地域包括ケアを目指す中で、今後他の部会との共通課題を割り出しつつ、協議も視野に入れ進めていくこととしたい。
- ◆外部講師による学びの機会も得ながら、地域包括ケアに向けた情報ならびに検討素材の確保に努める。